

電子化された医療関連情報をつなぐ仕組み

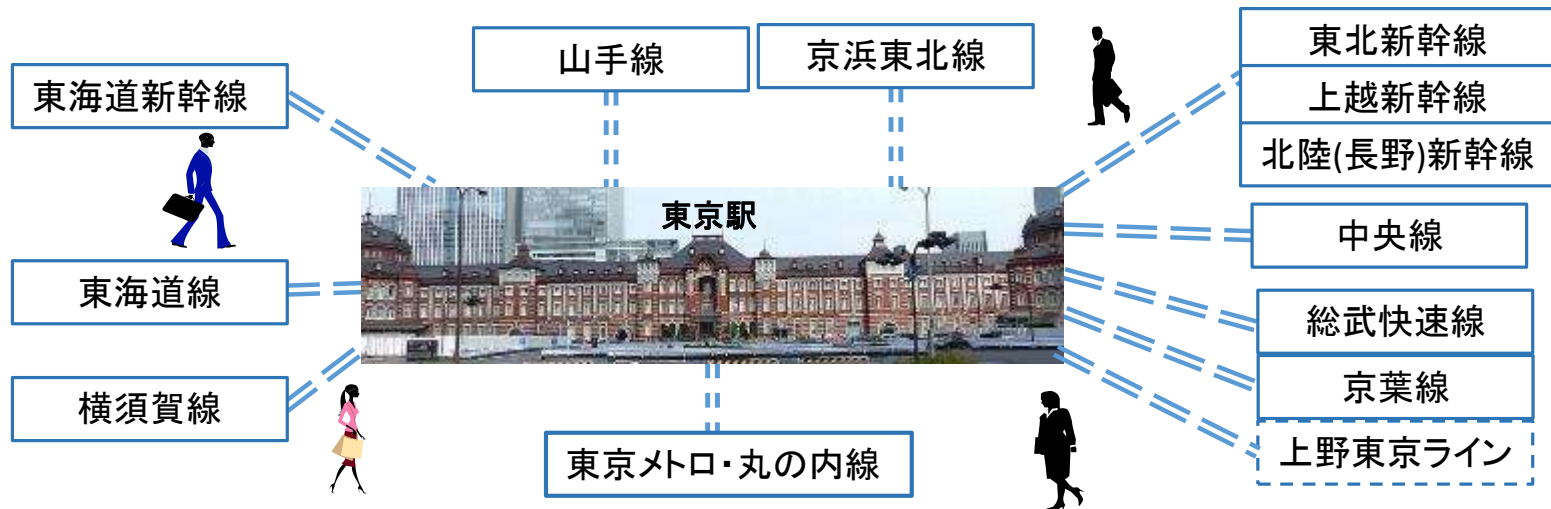
【個人健康医療介護データハブ構想】

2014年 10月 日

NPO法人 オハヨウ

様々な鉄道が乗入れている東京駅




東京駅には様々な鉄道路線が乗入れているが相互直通運転は一部路線のみではない。



しかし、乗客は東京駅で乗り換えることにより異なる路線の駅に行くことができる。
東京駅は異なる路線を結ぶ結節点=ハブである。

東京駅乗入れ路線の様々な規格

それぞれの路線を走る車両は路線の駅の特徴や過去の経緯などにより車両を始めインフラ規格が異なり相互直通運転は難しい

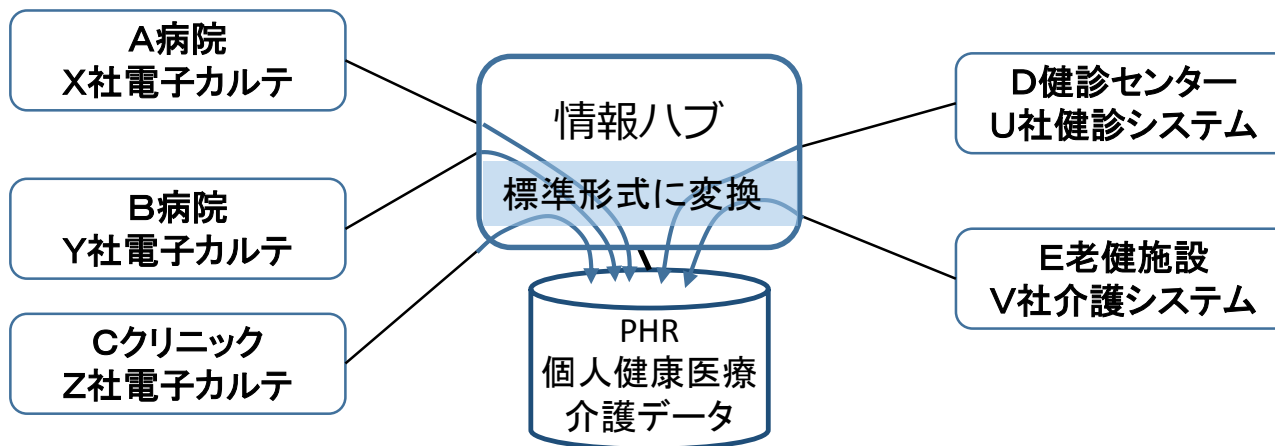
	東海道新幹線	東北新幹線他 (上越新幹線など)	中央線他 (東海道線など)	山手線他 (京浜東北線)	東京メトロ 丸の内線
軌間(レール幅)	1,435mm	1,435mm	1,067mm	1,067mm	1,435mm
饋(き)電方式	交流(60Hz) 25KV	交流(50Hz) 25KV	直流 1.5kV	直流 1.5kV	直流 0.6kV
集電装置	パンタグラフ	パンタグラフ	パンタグラフ	パンタグラフ	第三軌条
列車制御方式*	ATC-NS	DS-ATC	ATS-P	D-ATC	CS-ATC
					

* 軌間やき電方式が一緒でも列車制御方式が異なると乗入れができない。通常は鉄道会社毎に異なるため複数会社による相互乗入れ路線を走る車両は複数方式の制御装置を搭載している。

異なる仕様／規格の電子カルテを結ぶ

現在、電子カルテを始めとする医療情報システムは様々なベンダーが手掛けているが仕様については統一された共通基準がないことからバラバラであり、外部交換情報も標準化されていない。

しかし、病院や関係施設のシステムを情報ハブに繋ぎ一定の標準形式に変換することにより情報交換が可能となる。個人が掛かった複数病院や利用した施設にある個人健康医療介護データもPHRとして一元的な保存が可能。



これらの電子カルテなどの情報を相互に交換できる仕組みが個人医療介護データハブ構想である。

この「ハブ」を通して個人毎の医療健康介護情報交換および同情報の蓄積を可能とする。

PHR:Personal Health Record

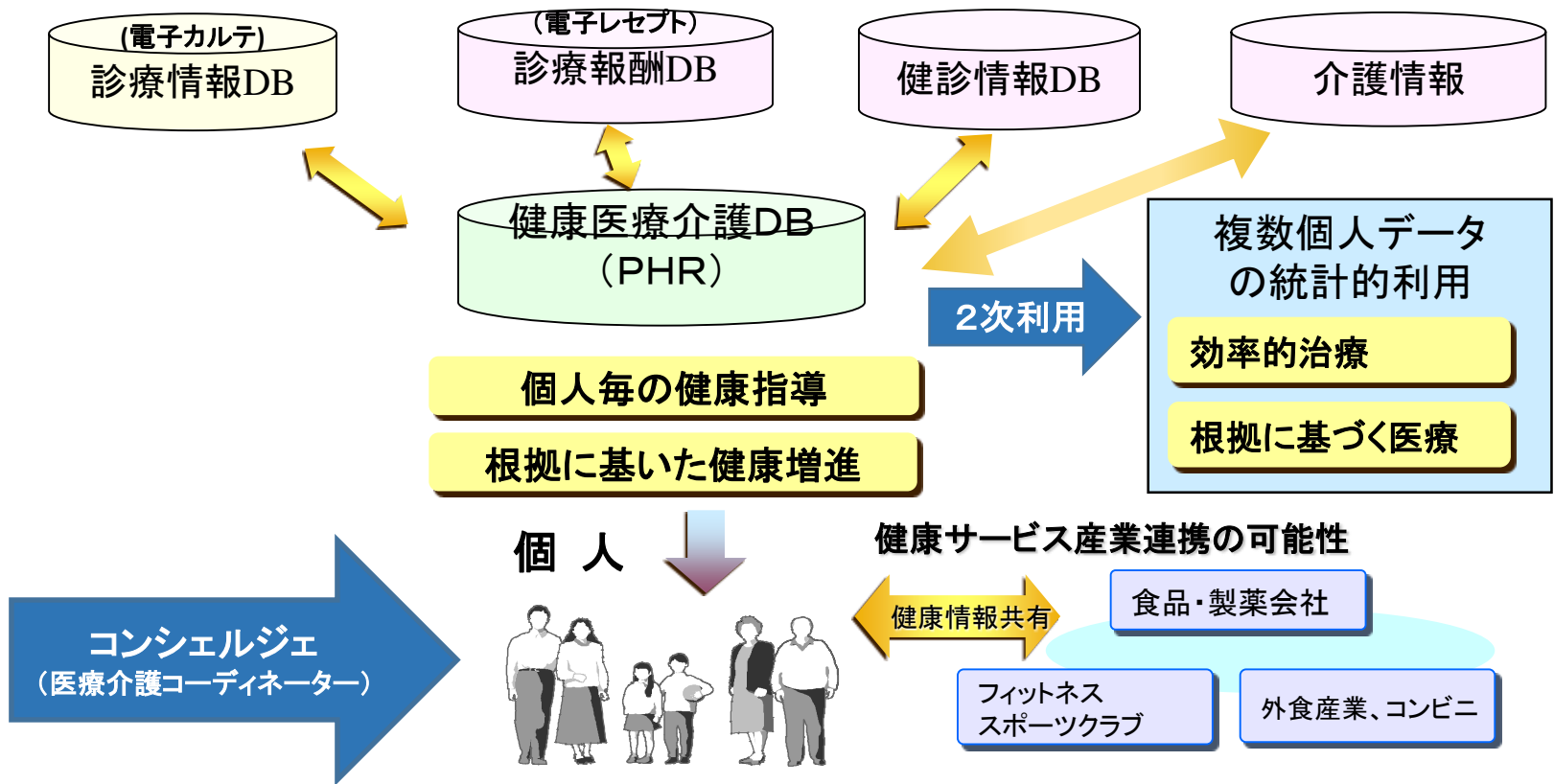
電子的医療情報等交換に関する様々な規格例

情報種別	医療情報					健診情報		介護情報		その他
	紹介状	処方情報	検査情報	医用画像	波形情報	特定健診	健診一般	ケアプラン	介護実施記録	
情報内容										
使用規格例	HL7-CDA R2	HL-7 v2.5	HL-7 v2.5	DICOM	MFER	HL7-CDA /XML	?	?	?	
使用コード系	JMIX 他	HOT	JLAC10	JJ1017		JLAC10	?	?	?	

医療情報については代表的な規格を示したが実際のシステムが全てこれに従っているわけではない。

医療以外の分野では一部を除き規格策定すら行われていない。

個人健康医療介護データハブ構想の目指すもの



健康医療介護情報のコンシェルジェ

PHR情報は本人の個人情報でありながら必ずしも本人が内容を正しく理解出来るとは限りません。情報を噛み砕いて説明し、適切なアドバイスを与えるコンシェルジェが必要です。

